

**H-5-025 キハ52形0番代 九州色**

Project 80  
プロジェクト 80



予価：¥30,800 (本体価格 ¥28,000 ) 紙箱入 (カートン入数 24)

**H-5-026 キハ52形100番代 九州色 (非冷房車)**

Project 80  
プロジェクト 80



予価：¥30,800 (本体価格 ¥28,000 ) 紙箱入 (カートン入数 24)

**商品形態** 1/80スケール 16.5mmゲージ 塗装済完成品 (主素材：ABS樹脂製) 対象年齢14歳以上

**実車紹介**

気動車によるサービス向上を図り全国に投入されたキハ10系の改良型として、大型車体を採用し居住性を向上させた一般形気動車がキハ20系です。キハ20系は1957年より製造され、運転台の数、寒地型、極寒地型、郵便・荷物合造車など多くのバリエーションがありますが、勾配線区向けに出力向上のため2エンジン・両運転台仕様として製造されたのがキハ52形です。走行機器搭載のため車体が21メートルに延長されています。キハ52形は汎用性が高く、キハ20系の中でも長期に渡り、1966年まで製造されました。

キハ52形0番代は1958年から製造された形式で、DMH17C縦型エンジンが採用され排気管が車体中央を通るため、その部分の窓柱が広がっている特徴があります。キハ52形100番代は1962年から製造された改良版で、DMH17H横型エンジンの採用により点検整備性の向上が図られました。また排気管が車両の前後に移され、客室窓が均等配置されています。

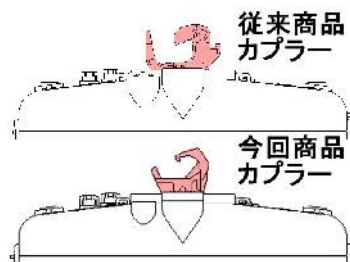
山岳路線が多く存在する九州では多くのキハ52形が活躍しました。国鉄末期からはアイボリー地に幕板・腰板が青帯の九州色に塗り替えられています。0番代は非冷房のまま1993年ごろまで活躍、一方の100番代は一部が冷房改造やスカートの取り付けが行われ2000年代初頭まで活躍しました。

**商品内容**

	(室内灯標準装備)		(室内灯標準装備)		<b>M</b> 動力車
<b>H-5-025</b>	<b>キハ52-46</b>	<b>H-5-026</b>	<b>キハ52-119</b>		ライト ヘッドライト・テールライト点灯
	ライト <b>M</b> ライト		ライト <b>M</b> ライト		

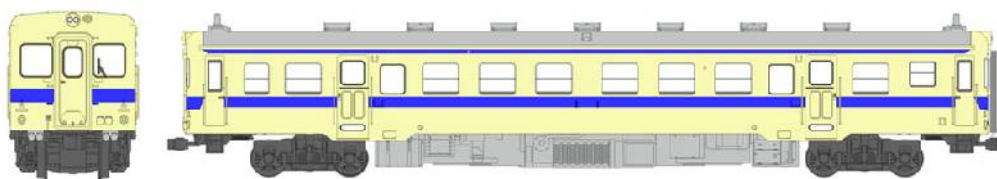
**商品概要**

- マイクロエース HO車両 久々のリリース。九州色に塗られたキハ52形を2種製品化
- 車体、室内、床下など0番代と100番代の違いを作り分け
- 車番、JRマーク、各種標記を印刷済み (車番変更用のデカールやインレタは含みません)
- 各種手すりや金属部品を採用、取り付け済みですぐにお楽しみいただけます
- 側灯の位置を実物に即して修正し、よりリアルな姿に改良
- カブラーは汎用性を重視してH-7:ED60 (2015年発売)と同様の形状に変更



**【H-5-025】キハ52-46**

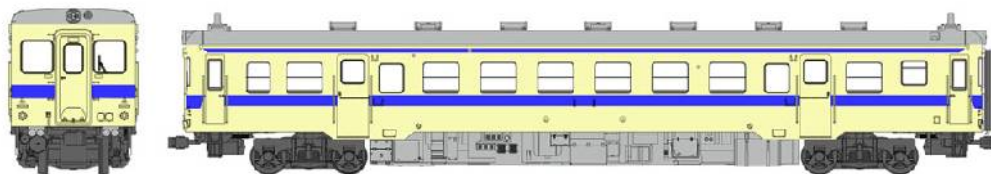
- 車体中央部の窓柱が太い0番代。前面上部がアイボリー塗装。シールドビーム2灯、暖地型タイフオン。前面貫通扉は原型窓
- 所属標記が直方気動車区「本カタ」となった1989年以降の姿、検査標記「61-7鹿児島車管」
- JR九州に残った最後の0番代を製品化 ● 部品共用のため一部実車とは異なります



※イラストはイメージです  
JR九州承認済

**【H-5-026】キハ52-119**

- 客室窓の配置が揃った100番代。前面上部がグレー塗装。シールドビーム2灯、暖地型タイフオン。前面貫通扉は原型窓
- 所属標記が鹿児島気動車区「鹿カコ」となった1988年以降の姿、検査標記「61-9鹿児島車管」。非冷房・スカート取り付け前
- 部品共用のため一部実車とは異なります



※イラストはイメージです  
JR九州承認済

**付属品** なし

**オプション** 室内灯 対応なし (取付済) **カブラー** 対応なし



株式会社 マイクロエース TEL：048-444-2944 FAX：048-445-3407

製品の仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので予めご了承をお願いします。本資料の改変、写真およびイラストの複製・改変・二次使用を禁止します。記載の内容は弊社の調査・見解に基づくものです。